

令和2年度 教育活動後援会

助成をいただいた活動の紹介(3学期)

『研修部』

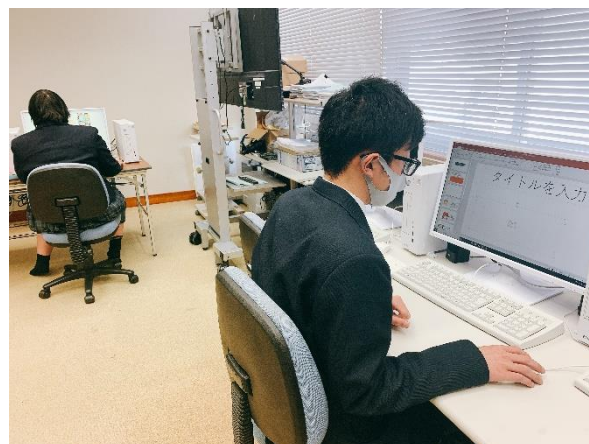


外部専門家研修会では、群馬医療福祉大学教授江原京子氏を講師に迎え、リモートによる「個別事例検討会」を開催しました。文字の読み書き等、認知面に困難さがある児童生徒の学習の様子を見ていただき、個別の事例に合わせて、教材の改善策や支援の仕方についての具体的な御助言をいただきました。本研修を通じて、児童生徒がどのように文字や言葉を捉えているのかを明らかにした上で、ねらいを明確にした教材作成をすることや、子ども自身が学習したことを確認できるような具体的な言葉かけをすることが大切であることを改めて学ぶことができました。教材についてもたくさんご紹介いただき、学びの多い研修会となりました。

また、2月には音楽の指導用 CD や DVD を購入させていただきました。今後の学習活動で活用させていただきたいと思っております。

『コンピューター室 備品』

情報教育部では、リモートの研修や授業、集会などに使う HDMI 変換機や LAN ケーブル、インクなどを購入させていただきました。特に高等部の情報科の学習で、パソコンで作った壁新聞や資料などをプリンターで印刷することで生徒の学習活動を大きく広げることができました。



『地域広報・パンフレット』

教育後援会の助成を受けて、印刷用のインク、用紙及び切手を購入させていただきました。購入していただいたインク、用紙を使用して年間5回の学校だよりを発行し、在校生の保護者及び、地域の方々に配布し、本校の活動を知っていただくことができました。また、パンフレット「学校案内」も印刷し、広報活動に活用させていただきました。



『会報』

教育活動後援会では、会員の皆様のおかげで3月に「教育活動後援会会報 第14号」を発行することができました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



今年度も、一般企業をはじめ、約370名の方々より会費やご寄付をいただきました。多くの方々には本校の教育活動をご支援いただきましたことに、心より感謝申し上げます。これからも本校の教育活動が、より一層充実したものとなるように、教職員一丸となって努めてまいりたいと思います。

